

「鳥取市スマートエネルギータウン構想改定（素案）」に対する市民政策コメントの結果について

◆意見募集期間：令和5年10月16日（月）～11月6日（月）

◆意見応募者数：1名 意見総数：1件

いただいたご意見（要旨）	ご意見への本市の考え方
<p>鳥取市スマートエネルギータウン構想改定（素案）には、風力発電の文言が含まれてはいますが、目指す姿として記載されているイラストでは、地域共生型再生可能エネルギーとして、バイオマス、太陽光発電、水力の3つのみが記載されていて風力発電が描かれていません。</p> <p>地元大学では、国内メーカーと共同研究を行い、現在、小形垂直軸型である直径14mのバタフライ風車と呼んでいる風力発電機を開発中です。来年3月には、その1号機が完成する予定です。場所や用途に応じて導入基数が調整でき、EVステーションの電源や、自家発電の電源、系統連系にも対応は可能であり、夜間の発電や冬場の悪天候の中での発電も可能です。リサイクル性も良く、杭基礎であるため施工時間も短いなどの多くの特長を持ちます。</p> <p>素案にも書かれていますが、産学金官の連携として、地元大学で開発されつつある画期的な小形風力発電機であるバタフライ風車の活用を、鳥取市スマートエネルギータウン構想の中でぜひ、ご検討を頂きたいと思っております。</p>	<p>ご記載のとおり、エネルギーの地産地消とこれを通じた地域経済の活性化は、スマートエネルギータウン構想の趣旨・目的とするところであり、これを実現するためには、地域のエネルギー会社や関連企業、大学、地域金融機関といった産学金官で密に連携を図る必要があると考えています。ご提案のあったバタフライ風車については、今後の実証実験の結果も参考とさせていただき、導入により期待される地域への波及効果、また費用対効果や景観など周辺環境への影響等も確認し、地域の皆様のご意見を加味しながら活用方法も含め検討してまいりたいと考えています。貴重なご意見ありがとうございました。</p>